

分科会 A 学社融合って面白い！

桑原広治 皆さんこんにちは。熊本県学社融合を勤めさせていただいております。今日 - コーディネーターをさせていただきますので、時間が協議時間は2時間15分です。

仙波英徳 松山市は『どのジャンルにあたるのか』まだまだ3分の1程度。平成8年9年生活実況アンケートをした。非行・不登校学級崩壊が出てきたころに実施。親と子供約1万人にアンケートした。教育委員会といっしょに。家庭的な生活習慣をメインに、機会をおねがいしました。生活習慣以前の問題だという結果がでた。松山市の子供に友達がいない子が1%いた。1ページ目からアンケート調査を表示しています。家庭人間関係が崩壊しているのでは？ いったい親として何ができるのだろうか？ 親とPTAと協力できないか？ 11年目PTA参加していますが、ざわめき起きるほど嫌われているじょうたいのPTAだと思う。ということは、PTA会に何度も参加しないといけないし、1516人集めて活動しないとけないというイメージがあるので、嫌われる。その状態で次の人にバトンタッチしていいのか？という問題がある。16ページみてください。子供にとっての活動は何だろう？街づくり人づくりを考えたがなかなか見つからない。子供のために活動ができるか？ということ。しかし、PTAはこの考えを拒否した。変えることがPTAにとっては嫌。だから私たち独自のPTA会を発信したら、松山市のHPを立ち上げてます。だから学校教育は遅れてます。とにかく松山市は遅れていますので学社融合に出会ってこの方法論見つけました。さ39から41ページに書いてます。報告書を市に報告しました。今年度から2校が実施され報告されてます。そのとき愛媛大学の学生に出会い今の松山の結果を発表してもらいます？

1点だけ報告

5年後に保健所にアンケートを調査しました。23ポイントアップしている。親とこの関係が良くなっているという結果がでたがこの分科会で生かせればとおもう。

村上弘 尋常小学校について報告。

映像を見てもらいます。8年前に北九州の老人ホームではじめた原型となります。北九州からTV放送されました。ズームイン朝で取り上げた子供との融合を見てもらいます。

映像 サタデー北九州

戸畑私立老人ホーム20人(70から92歳までの)が大谷小学校空地に協力昔の教育を実践した講座を受ける

2科目 1時限 安武光義先生 お年寄りに授業をする。

子供のときにした つじあそび を覚えてますか？

みんな真剣に授業を受けてました。先生の感想。発言もちゃんとあってよかった、これからこの講座は理想的な講座だと思う。今、の講座は発送を豊かにしないといけないので、こうやって空き部屋使って体を使って子供たちも参加して聞くだけの講座でなく動かす講座はいいと思う。喜んでます。

2時限 救急活動の映像 いざという時の応急処置

楽しく受講してもらおうと体験してもらうことを目的に、尋常小学校校長が考えた。懐かしいという思い出をつくる楽しく活動をするというテーマ。

まず、学校で受講する。使う教材は昔の教材を利用。特に国語の教材のはなまずまめが大変驚かれた。

ボランティアは地元の主婦。主婦の感想は生徒さんがきっちり動いてくれるから楽。こちらも勉強なる。

出席名簿 皆勤賞が多い！遠くからきている人が多い。

これから目指すもの 楽しく・好奇心を持つこと・いろんなことに挑戦体験してもらう。提供するのが目標。

91歳男性 少しでも勉強しよう。感想懐かしい。昔を思い出がでてきた。

92歳女性 勧められた。楽しい。

82歳男性 自信がついて来た。

84歳女性 うれしい。死ぬまで勉強だからこの機会がうれしい。いろんな授業を死ぬまでしたい。

ズームイン朝

尋常小学校 お年寄りが学校で授業を受ける。母校で。しいのきそう老人ホームの人たち。授業は昔のまま。教材も昔のまま。掃除の時間もある。

女性 記憶力が戻りそう。

小学生も参加 昔の遊びをする。孫と遊んでるような感じ。他にもカラオケやお金のため方もある。遠くからきている、お年寄りがいる。

ビデオを見ていただきました。資料を見てもらって、経緯が北九州市の学校が今年4年目の授業をしている。80校やっています。お孫さんとの接点が生まれているのが重要である。長寿の世界で3040年間の年長者の力を活用できないか？というのが重要

桑原広治 これからは質疑を

江口 カツヨシ 実は屋台でやりたかった。私の学区は宮崎さんなのでやむなく。

千葉県の前校長をしています。30年しています。子供状況が厳しくなっているが、これから

楽しく変えないといけないと思って学社融合に参加。以前学校長室で相談にきている。

内容は教師の不祥事 家庭環境 家庭問題のことにいて・・・。

厳しい子供環境だなと思う。DVはうちの学校で2件学級崩壊もあった。

だから教師も一生懸命 カウンセラーを呼んだり授業参観したり、取り組んだが、結局いじめられた子供は転校してしまった思い出がある。

結局 限界がある。夫婦間 学校間 厳しいので 学校を拠点として活動しよう！地域の学校子供人参加した。理事会の会長さんが参加主。ボランティアは女性が殆どやっている。ということは女性が中心 子供が賑わいをかもし出す ところは 地域の小学校。

女性と子供の中心の場 小学校を変えようと実践した。

具体的には、保護者のひとが学校に来てくれること 考えを出してくれるから

学校について話す機会である。私自身も聞く機会がある。今年 2 年目になるが、親から足を運ぶのは殆どないが、前より呼吸が良くなったと思う。

資料みてください。

資料 一期一会 について 校長室便り

学校経営方針について 必ず書いている。 4 月分に保護者に報告します。

日付 2 0 0 2 / 4 / 21 職員と保護者に同じ物を報告

それについての説明会を行い、お知らせ討論を行っている。

こちらからの発信をしている。

資料 3 4 ページ 右

新しい担任のことなど。どのようにして担任を決めるのかを報告。大変な肝心事。

このような発信は地域からか学校からか

宮崎会長が住んでいるところは高齢化世代の地域社会。そのことに関して、地域のほうから発信しようという考えが少ないので、学校から発信している。

学校ばかりからじゃ、親は無関心では困るので、アンケートをお願いして参加してもらっている。

資料 3 から 1 8

より開かれた学校教育についてのお願い

地域には日常的に趣味とか楽しみを活用してくださる場が少ないところがあることを知ってアンケートを取った。

その結果をすべて報告しました。プライバシーを除くすべて 配りました。

(2 3) について の感想

週休 5 日制について 不安 疑う問題 を解消しようと、

学校側から親に逐一報告している。

1 から 7 0 ページのアンケートを家庭に配布。家庭の場を毎年の目標を希望をアンケートにして。学校にとっては隠したいこともすべて公開しています。

このことで資料 2 0 2 1

1 9 家庭訪問の案について

2 0 職員の案 2 月に載ったアンケートをもとに職員会議をしている。

夏休みも親も参加して会議論議をする。

これで家族 学校協力していく。

校庭を畑に変えた。土に親しみ生き物に親しんでもらう。1区画づつ親子で畑を持って畑を耕してもらう。家族交流が生まれる事を目的に。

パネル 重機で畑に変える写真 3枚 表示

地域の人が手伝ってくれた。

今の畑は？ おばあちゃんといっしょに育てる。家族で育てる写真など。

お母さんに育て方をおばあちゃんに教わる写真。

畑提供は小学年のみ

畑の野菜を給食室で調理してみんなで食べる。

夏休み親子で畑作りの写真。

その他資料29ページ お知らせ

30ページ 子供達の感想

28ページ 学校校舎 第3校舎 デイサービス 地域の人たちがフランクにかかわれるように開放した。土日開放 オープンスペース用アラームをつけた。今後の活用も期待。おとうちゃんの会もある。はじめは飲み会だったが、閉鎖的になるのを恐れて、土日プール開放した。お父さんに責任をもって使ってもらう。子供達も使ってもらう。

おとうちゃんの会の写真 4枚~35ページ資料

お母さん幼稚園児中学生も参加、レジャーランドのようにしてくれと私は頼みました。

手当ての関係で、職員でなくお父さんにたのんだ。これが学社融合だと思う。

39ページ40ページ

5月に取ったアンケートを踏まえて呼びかけた活動。

動機はいろいろ。5人参加した。台風の中。

38ページ 一期一会

結果を逐一報告することをしていきます。

もうひとつ話しをします

授業参観は廊下談義をしてしまうお母さんが多くなってきた。授業参観に参加・参画に変えたらどうだろうか？コンピュータの授業に参加する父兄（写真）

音の出るおもちゃ作り（写真）体育館で物作り（写真）等

授業計画作りを保護者と一緒にする事で教師も楽 これが学社融合

質問

仙波英徳に質問 P T Aの役員参加している。これだけの活動を作るとP T A役職をまだ

やりたいという人にとってはどうすればいいのか？
HPによってどんなふうにPTA会が変わるのか？

仙波英徳 OBOGになったときは、受け皿を作ろうという動きがある。融合ネット委員会によって作っていく。現職とOBの垣根を越える。学校・家庭・地域・社会教育部に分かれている松山市。考えることがなかったPTA。を変えた。PTA活動廃止、PTA運動に変更！という動きになっている。

アンケート調査発表（松山市） 77設にアンケートしたものを配布しました。
学校教育に伴う地域の人地域の人協力参加がほぼ99%。地域のために学校が主体となつての参加は2割。
結果は、施設の人地域の人相互理解が増えた。地域の学習活動の参加が減るのでは？教師の負担が多くなるのでは？という不安がでた。
松山市は学社融合の言葉が先行しているのが実態、その解消が課題。

質問

江口 カツヨシ に質問 **教員** 学社融合のことで教職員の意識改革の壁が高い？
保護者外の子供のいない人とのかわりは？

江口 カツヨシ に質問 学社融合は実際は学校の名が先だが先生の方が受身になっているのでは？学校の授業は先生に任せろという態度のほうが良いのでは？
町にいるものは学校の中がまったく見えない。どうすれば？

江口 カツヨシ 教職員の意識改革について 教師がうまみを知ることが肝心。大事。
とにかく何かひとつ持ってみようという段階からはじめる。校長が発信。

2つ目 地域の回覧版に載せて 地域の人にみてもらう。去年、民生員が協力的。
子供達の姿を試験者として目標を掲げる。地域の公園のペンキ塗りをしたりして子供達が地域の役割をはたして地域の人にみてもらう

3つ目

村上弘

資料レジメ参考

北九州市は人口 100 万 今は落ち込んでいる。住みやすい地域だが高齢化社会でもある。
年長者のすごし方が課題。130の小学校に活動拠点を作った。館長が市から来てもらって、地域の人がスタッフとして 採用公設民スタイル。

121校の整備体制。この中での館長は49名は女性の民間の人。生涯学習 地域コミュニティ活動している。1館40人スタッフ。

市の特性、年長者の力を借りて、子供とのかかわりを持つ。開かれた学校作りといいつつ

も閉鎖的。だから徹底して、実施運営委員会に否定的な校長は名指しするほど活動が大きい。学校教職員との関係がまだ浸透浸していないが、少なくとも年長者が学校に出入りして子供との関わりができればと思う。

桑原広治 仙波英徳に質問 11年PTAしてきて相当な試行錯誤があるとおもうが、学社融合との関係・楽しさを教えてください。

仙波英徳 たまたま11年やってるだけ。PTA会には説明が多くなる。学校教育が死んでいたの。今度変わろう教育革命2002から。10サイクルで取り組んでいます。PTAがこのままでいいのか？ライフワークとなっている。

桑原広治 **江口** カツヨシに質問 PTAは考えることをしなくなった。PTAから行政に働きかけられたが、アンケート等つかいながらすべて答えています。

江口 カツヨシ 学校にこられる保護者の方は少ない。そのかたの耳を澄まさないといけない。と思う。満遍なく耳を澄ますことで学校の教育の力になりたいと思う。

資料参考 アンケートを保護者に取ることで、多様な家庭を知る。地域学校の繋ぎをつくることになる。学

桑原広治 融合って面白いとはコミュニケーションをとることだとおもう。親子での関係。融合はひとつの手段だとおもう。 **村上弘に質問** 『目指すものは楽しく』がということだが、学校では楽しくない。尋常小学校では楽しいというのは？

村上弘 8月に戦争を語る学習がありますが、子供と一緒に泊まって人の話を聞く。尋常小学校。お父さんお母さんでは話せない話を年長者が昔話として子供に語りかけることで実感が湧く。戦時中の味噌汁をみんなで食べる、など。9月敬老月間に年長者に手紙を送る。手紙から手紙への継続的な活動する。月曜日から日曜日までどの時間にあっても続けるということが肝心だと考える。

桑原広治 キーワードは土曜日だけでなく平日も活動できる、することが肝心。先生大人ばっかりに任せられない部分がある。

質問

3人に質問 **高校教師** 子供達が学社融合でどのように変わったのか？学社融合の面白さは子供だけでなく大人教師親も変わると思うがどうな風に？

仙波英徳 はじまったばかりなので……。学校は楽しいのか？地域は？家庭は？面白いと思っている子は学校家庭のばがある子。地域で参加できるようにしています。ヤリッコ

クラブでは、スイカを栽培。学校事業でできないことを地域がする。子供達が自ら学ぶ場を作れるか？という課題。自主的に動く子供達が増えている。大人がその場を作らないといけない。それによって、学校地域家庭が面白いと思える。

村上弘 子供達は家庭が核家族化しているので大人お年よりとの関係がわからないという。学社融合によってそれがなくなりつつあると思う。

江口 カツヨシ 確証がない。ペンキ塗りの作業をした子供達のこと。その壁を落書きされてショックだが逆に、ますます自負心が沸いてきていると思う。

畑作りによって親子の関係が深まっている。親子で環境整備したが、親御さんだけでなく、子供達も多く参加するようになった。親御さんについて学校に対しての要望参加が多くなってきた。PTA外の組織がでてきた。いろいろな形で動きが見えてきたが、そんなに容易なことではない、のが現状。

地域の方が、コミュニティーをもっと作るのが課題とおもう。

宮崎 各社連携なのに学社融合連合？連携はどちらかが協力すること。学校が計画し町内会のボスが決定し命令する。融合はみんなで参加計画すること。

学校とちいきが仲良くするのが学社融合。それによって仲良くなる。まだまだ学社融合は少なかったが、秋津は徐々に増えてきている。融合のうまみを知る人が増えた。

しかしながら、なかなか進まない。理由はうまみだけでなく苦味があるから・・・？知らないから苦味をおそれているのでは？教員は苦味はあるが地域の人にとっては苦味はうまみに変えられるのではないか？

教員の警戒感が強い。地域の方は学校の非協力的な態度に原因？

嫌な思いをしても、子供のために動けばいいのでは？子供の笑顔のために動いて。

先生もおごらず、謙虚になってほしい。地域と学校の良い関係を良くしてほしい。

みなさんの地域の校長はパネルの人とは違うと思っても地域の人たちが動けば校長も動くのではないのか？

桑原広治 学社融合 学力までも上げるのも課題。

これから今日いただいた課題を次回答えが出るようにしたいと思う。